

2011年11月改訂（記載要領変更に伴う改訂）

第2類医薬品

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。  
また、必要な時に読めるよう大切に保存してください。

婦人薬

# じょとく

## 特徴

女性が40才から50才位になりますと、卵巣の働きが衰え、各種ホルモンの分泌に異常をきたして、色々な身体の変調が出てきます。これを更年期障害といますが、最近では、更年期に達していない20才代あるいは30才代の女性も更年期障害様症候群（種々の神経症状あるいは精神症状等）があらわれる人がかなり多くなっています。神経症状としては、どうき、息ぎれ、めまい、のぼせ、頭痛、便秘等が、また、この他にも血の道症、月経痛、月経不順、こしけあるいは冷え症、血色不良等の症状があらわれる人が多い様です。

じょとくは、この様な症状に改善効果のある生薬やビタミン等を配合した女性保健薬です。



## 使用上の注意



### してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる）

授乳中の方は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けること



### 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

- （1）医師の治療を受けている人。
- （2）妊婦又は妊娠していると思われる人。
- （3）薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- （4）次の診断を受けた人。

腎臓病

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	食欲不振、胃部不快感、吐き気・嘔吐

3. しばらく服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

## 【効能・効果】

血の道症<sup>注1)</sup>、冷え症、手足のしびれ、月経不順、こしけ<sup>注2)</sup>、どうき、息ぎれ、めまい、のぼせ、頭痛、腰痛、肩こり、むくみ、血色不良、便秘、月経痛

注1)「血の道症」とは、月経、妊娠、出産、産後、更年期など女性のホルモンの変動に伴って現れる精神不安やいらだちなどの精神神経症状および身体症状のことを示します。

注2)「こしけ」とは、おりものことを示します。

## 【用法・用量】

年 齢	1 回量	1 日服用回数
大人（15才以上）	5錠	3回毎食後
15才未満	服用しないこと	

## 【用法・用量に関連する注意】

用法・用量を厳守すること。

（裏面につづく）

## 〔成分・分量〕

1日量（15錠）中

成分	含量	成分	含量
ダイオウ末	200mg	チアミン硝酸物(ビタミンB <sub>1</sub> )	10mg
カノコソウ末	200mg	ピリドキシン塩酸塩(ビタミンB <sub>6</sub> )	5mg
ケイヒ末	150mg	シアノコバラミン(ビタミンB <sub>12</sub> )	3 $\mu$ g
チョウジ末	50mg	トコフェロール酢酸エステル(ビタミンE)	10mg
ビャクジュツ末	100mg	含糖酸化鉄	100mg
シャクヤク末	300mg	アスパラギン酸カリウム・マグネシウム	100mg
ニンジン末	50mg	フィチン「ウシズ」	100mg
ブクリョウ末	200mg	コンドロイチン硫酸エステルナトリウム	50mg
トウキ末	300mg		

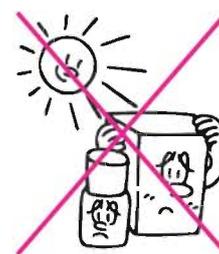
添加物として白糖、炭酸Ca、タルク、ゼラチン、パレイショデンプン、赤色102号を含有します。

## 〈成分・分量に関連する注意〉

本剤の服用により、便が黒くなることがあります。含糖酸化鉄の鉄分によるためです。

## 〔保管及び取扱い上の注意〕

- (1) 本剤を服用する場合、湿った手・ぬれた手で取扱わないこと。（水分が錠剤に触れると、表面の糖衣が変色したり、脱色したり、あるいは亀裂を生じることがある。）
- (2) 容器を冷たい場所から出した時は、室温にもどしてから開栓すること。
- (3) 品質を保持するために、服用の都度キャップをしっかりとめること。
- (4) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管すること。
- (5) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (6) 他の容器に入れ替えないこと。（誤用の原因になったり品質が変わる。）
- (7) 使用期限を過ぎた製品は服用しないこと。なお、使用期限内であっても、開栓後は品質を保持するため用法・用量を守りなるべく早く服用すること。
- (8) 容器の落下等の衝撃により錠剤に亀裂が入り、品質に影響を与えることがあるので、外箱に入れて保管する等取扱いに注意すること。



直射日光

## お問い合わせ先

本剤のご使用により、変わった症状があらわれる等、何かお気付きの点がございましたら、お買い求めの薬局・薬店又は下記までご連絡頂きますようお願い申し上げます。

日邦薬品工業株式会社 お客様相談室 電話：03(3370)7174(代表)  
受付時間：9:00～17:00(土・日・祝日を除く)

発売元 日邦薬品工業株式会社  
東京都渋谷区代々木3-46-16

製造販売元 牛津製薬株式会社  
佐賀県小城市牛津町下砥川1-2